

柏市社会教育委員会議

～これまでの経緯と今期のテーマや取り組みについて～

今期の社会教育委員会議を進めていくにあたり，これまでの経緯と今期の目的や取組の概要を説明させていただきます。

1 前期社会教育委員会議からの提言書について

～提言「生きる力を育む体験への関わり」～

「子どもたちの体験活動」や「地域と学校の連携」について議論してきた経緯を踏まえ，前期社会教育委員会議では「子ども」と「地域」をキーワードにそれぞれの思いを話し合っていました。その結果「子どもたちの生きる力を育む体験に大人がどのように関わるとよいのか」というテーマについて，社会教育の視点から，地域の大人の関わりや，始められる取り組みについて考えをまとめていただきました。【提言書P4～5】

(1) 提言【提言書P6～9】

ア 「大人自身が楽しもう，大人同士がつながろう」

イ 「子どもを主役にする関わり方を工夫しよう」

(2) 今後の活動の提案

「地域と学校の連携」の具体案の一つとして「地域連携ルームの設置」により，これによる複数の「想定される具体的活用策」についてなどの提案をいただきました。【提言書P13】

2 第4次柏市生涯学習推進計画について

本市の最上位計画である「柏市第五次総合計画」の部門計画として，生涯学習推進に向けた中長期的な方向性を示す計画となります。（計画期間：令和3年度～7年度）

本計画は，提言同様「こども」と「コミュニティ」がキーワードとなる計画です。

柏市が目指す生涯学習像となる「笑顔と元気が輪となり広がるまち柏」【計画書P13】の実現に向けた4つの取組方針【計画書P20～21】毎に，子どもたちの成長に関わる大人同士のつながりや，大人自身の学びがもたらす地域の活性化を目指し，その為の環

境整備となる具体的事業を位置付けています。

2 今期社会教育委員会議のテーマや取組 【会議資料P4】

(1) 提言の実践に向けた取組

今期の社会教育委員会議では、前期の提言内容（上記1の（1）及び（2））を踏まえ「放課後子ども教室※」を活用した体験活動や遊びの場の提供の具体化（放課後の子どもの居場所づくり）を1つ目のテーマにしたいと考えています。

これは、放課後子ども教室事業に対するニーズとして学習支援以外にも、子どもたちの学校、家庭に次ぐ第3の居場所の期待が高まっていることはもとより、国としても「地域とともにある学校づくり」（コミュニティスクール）と「学校を核とした地域づくり」（地域学校協働活動（本部））を一体的に進める方針を示しており、広く地域の参画を得て、社会全体で地域の活性化を図っていくことが求められているためです。

今後、市の計画や取組について、ご報告してまいりますので委員各位の専門分野からの識見をお聞かせいただき、具体化（放課後の子どもの居場所づくり）に向けたご助言をお願いいたします。

(2) 生涯学習推進計画の進捗について

計画に位置付けた具体的事業【計画書P22～27】の進捗や課題について、ご報告してまいります。

また、人生100年時代や共生社会といった提言にはない概念を取り上げていますので、委員各位の専門分野からの識見をお聞かせいただき、各事業の活性化や課題の解決に向けたご助言のみならず、様々なご意見をお願いいたします。

(3) その他

2年間の会議の中で議論・検討した内容を成果としてまとめ、柏市の社会教育活動に役立ててまいります。

※放課後子ども教室（ステップアップ学習会）とは

小学校の余裕教室を活用した地域ボランティアによる学習支援事業。

主に低学年を対象に週1回1時間程度の補充学習の場を提供することで、学習意欲の向上と、学習習慣の形成・定着を図ることを目的としている。